

相談窓口の取組について

相談窓口とは

各地域において、介護ロボットに関する介護現場（ニーズ）と開発企業（シーズ）双方からの相談の受付等を行う一元的な窓口です。現在、全国で11箇所に設置されています。

相談窓口の取組

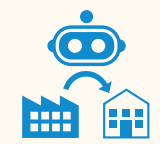
介護現場への支援



各種相談への対応

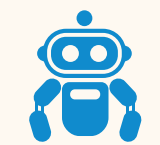
介護ロボットの導入方法や活用方法に関する、介護現場からの相談に対応します。

具体的には、介護ロボットを活用した介護現場の業務改善方法の紹介、導入事例、介護ロボットの製品情報や補助金・基金の紹介等を行います。



介護ロボットの試用貸出

介護ロボットを試しに使用してみたいという介護現場から、介護ロボットの試用貸出依頼を受け付け、試用貸出企業へ取り次ぎを行います。



体験展示

現場での活用をイメージできる場として、介護ロボットに触れ、体験することが出来る展示場を用意しています。中には、各種相談への対応と体験展示を異なる場所で実施している相談窓口もあるため、個別にお問合せ下さい。

開発企業への支援



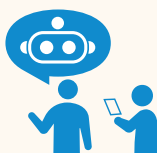
各種相談への対応

介護ロボットの研究開発や製品のPR等に関する相談に対し、介護ロボットの開発にあたっての補助金の紹介や出展可能なイベントの紹介等を行います。また、開発企業より製品評価や効果検証に関する要望があった場合は、リビングラボネットワークへ取り次ぐことが可能です。



研修会の取組

介護ロボットの普及促進を図るため、現場の課題とそれに応じた介護ロボットの選定の手法、導入時の留意事項、導入による効果、導入の取組事例等を説明する研修会を行います。



伴走支援の取組

介護ロボットを導入しようとする介護現場について、当該施設における課題の見える化、課題を踏まえた適切な介護ロボット選定、介護ロボットの導入に当たっての施設内のオペレーション変更に関する助言等の個別の導入支援を行います。

介護ロボットのニーズ・シーズマッチング支援事業

開発企業に対して、介護現場のニーズ把握、実証、企業間連携（開発企業同士、販売・アフターサービス事業者との連携）、等の支援をしています。本事業のホームページ上では、介護現場の課題を「ニーズリスト」として一般公開し、随時更新しています。また、介護現場やロボット技術の専門家であるマッチングサポーターに相談したり、介護現場に直接ヒアリングや視察をすることができます。

ホームページ

URL : <https://www.mhlw.go.jp/kaigoseisansei/ns/index.html>



リビングラボの取組について

リビングラボとは

リビングラボは、実際の生活空間を再現し、新しい技術やサービスの開発を行うなど、介護現場のニーズを踏まえた介護ロボットの開発を促進するための拠点です。「開発中の介護ロボットの製品評価をしたい」「実際の介護現場で使えるのかどうか検証したい」といった開発企業の皆様に支援します。

本事業に参画するリビングラボは現在全国で8施設です。これらのリビングラボは本事業を通じてネットワークを構築し、それぞれの強みを生かしながら開発企業の皆様にサポートしていきます。



リビングラボの取組

開発企業への支援



介護ロボットの製品評価・効果検証

開発企業からの要望に応じて、製品化にあたって開発中のロボットの安全性や使用効果の評価・検証を実施します。



効果検証に係る助言

開発企業からの要望に応じて、介護現場での実証に当たり、実証時の評価・データ分析方法への専門的・技術的な助言を実施します。

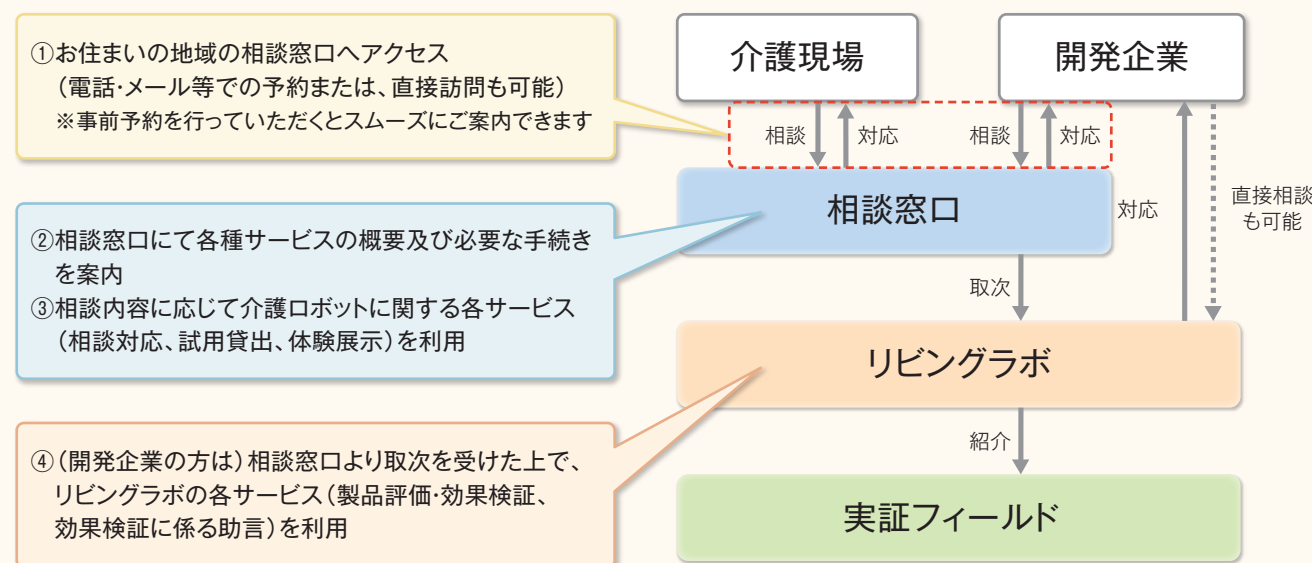
介護サービスの質の向上・効率的なサービス提供に向けた対応

介護サービスの質の向上・効率的なサービス提供に向けた介護現場での大規模実証等を支援します。



相談窓口とリビングラボ活用の流れ

相談窓口・リビングラボの活用の流れ



本プラットフォームを利用した試用貸出や実証において発生する事故・トラブル等に備えて、民間の賠償責任保険への加入や使用状況の記録等の詳細について介護施設等と開発企業等で直接取り決めていただきますようお願いいたします。